



# 杉並区議会だより

[発行] 杉並区議会 [編集] 区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/> [携帯サイト] <http://mobile.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>



第2回定例会で議決した指定管理者が運営する妙正寺体育館が、地域のスポーツ活動の拠点として、10月1日リニューアルオープンしました。(写真は、建物外観と落成式での議長あいさつ)

## 平成28年 第3回定例会

# 一般会計補正予算(第5号)、 平成27年度各会計歳入歳出決算を 可決・認定しました

第3回定例会は、9月9日から10月14日まで36日間の会期で開かれました。初日から4日間は、20名の議員が区政一般について質問を行いました。

今定例会では、保育緊急対策経費等にかかる補正予算や、条例改正など9議案を審議し、全て原案どおり可決しました。また、決算特別委員会を設置して平成27年度一般会計と4特別会計の決算審査を行い、全会計を認定しました。(審議の結果は、8面をご覧ください)

議 会 日 誌	
8日	議会運営委員会理事会 議会運営委員会
29日	総務財政委員会
31日	議会運営委員会理事会
《9月》	
1日	議会運営委員会
9日	議会運営委員会理事会 議会運営委員会
12日	本会議
13日	本会議
14日	決算特別委員会
15日	区民生活委員会
16日	保健福祉委員会
20日	都市環境委員会
21日	文教委員会
23日	総務財政委員会
26日	災害対策特別委員会
27日	道路交通対策特別委員会
28日	文化芸術・スポーツに関する特別委員会
29日	議会改革特別委員会
30日	決算特別委員会
《10月》	
3日～7日	決算特別委員会
11日～13日	決算特別委員会
14日	議会運営委員会
	本会議
	議会運営委員会理事会

## 第4回定例会

11月17日(木)から12月7日(水) [予定]

本会議は、区議会ホームページで生中継をしています。また、おおむね24時間後から録画映像でもご覧になれます。

主な内容	
一般質問	2～4
監査委員の意見、行政視察、 請願・陳情の審査結果など	5
意見発表	6・7
議案等の審議結果、 委員会の活動	8

# 区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。  
9月9日・12日・13日・14日に20名が質問しました。

公会計情報の活用で区財政の「見える化」の推進を



中村康弘 (公明)

**問** 複式簿記・発生主義に基づく地方公会計の財務書類を作る意義について、区の見解は。

**答** 資産や負債の現状等、財務情報を分かりやすく示す事で説明責任を果たすと共に、財政運営のマネジメント強化が図れる。

**問** 新たに設けられた「統一的な基準」への変更に向けて、区の取組状況および今後の予定は。

**答** 今年度中に新たな基準に対応した公会計システムの構築と固定資産台帳の再整備を図り、28年度決算から新基準に基づく数値の作成・公表を行っていく。



**問** 今後、公会計情報を区政運営のマネジメントツールとして活用範囲を拡大できる可能性があるかと考える。区の見解は。

**答** 情報を活用して施設別・事業別のコスト分析やフルコストでの状況把握も可能となる。行政評価制度や予算編成過程等に活用できるよう検討していく。

**問** 時代の変化を念頭に置き、事前統制的で、短・中・長期の時間軸を考慮した区財政運営のルールを検討してはどうか。

**答** ご指摘の通り、公会計情報の活用等、分かりやすい財政ルールへの検討を重ねていきたい。

乳幼児期に、親子間での愛着をしっかりと形成することが大切



井原太一 (自民)

**問** 幼少期に親から十分な愛情を受けられないと子供は愛着障害を持ったまま育つことがある。幼少期の愛着形成の大切さについて、区の考えを問う。

**答** 愛着は、子どもの健全な成長や人格形成の基礎を作るとともに、社会の一員としての自覚と責任を生むことにもつながる意義あるものと考えている。

**問** 核家族化や共働き等で、子育てを家庭内だけでは行えない。地域や行政の支援が必要だが、愛着形成の支援に区はどのような取組を行っているのか。

**答** ゆりかご面接や健やか赤ちゃん訪問等を通じて、専門職による相談や産後ケア事業等の必要なサービスにつなげている。

**問** 愛着形成について、保護者にどのように助言しているのか。

**答** 訪問育児サポーターによる接し方のアドバイスや子育て便帳に赤ちゃんとの生活を記載する等の啓発を行っている。



**問** 保育施設での乳幼児期の愛着形成は、どのような観点で取り組んでいるのか。

**答** 保育士が親と共に子どもを育てていく「共育」の観点で、日々の保育に取り組んでいる。

杉並区のスポーツに関する施策について



大熊昌巳 (自民)

**問** 2020年東京大会に向けて、区民懇談会の今後の展開と区長の意気込みを問う。

**答** 区民参加や公共施設を活用した取組等、様々な視点で意見交換してもらい、スポーツ振興や地域活性化に繋げたい。大会以降も区民が主体的に協力し合う杉並らしい文化を次世代に引き継ぐため、区民と共に一丸となって取り組んでいく。

**問** 総合型地域スポーツクラブの設立と運営支援について問う。

**答** 多様な世代の様々なレベルの人たちが多種目のスポーツに参加でき、地域の新たなコミュニティ拠点ともなるクラブだが、区民周知はまだ十分ではない。

**問** 地域ぐるみで設立を検討する気運を醸成していくため、区の組織横断的な連携体制を再構築し、取組を推進していく。

**問** 小・中学校9年間を通し、連携したスポーツ活動を推進すべきと考えるが、区の見解は。

**答** 将来的には、中学校の部活動と総合型地域スポーツクラブの連携も視野に入れていくが、当面は部活動活性化事業の拡充を通じて、小中連携したスポーツ活動の推進に努めていきたい。



杉並区の保育、児童虐待、貧困対策について



今井ひろし (自民)

**問** 全国の自治体の保育士確保策に対して、区の見解を問う。

**答** 保育士不足が深刻な自治体で、より即効性の高い取組を目指している認識。区では、独自に取り組みべき内容や範囲等について、慎重に検討している。



**問** 保育所の急増整備に対する保育の質について、訪問指導監査の体制は十分なのか問う。

**答** 指導監査は、保育士や担当職員ら3人体制をとっている。また、認可外施設への訪問指導も定期的に実施。来年度は、全ての認可保育所へ一部指導監査も含めた訪問を予定している。

**問** 児童相談所移管に関するロードマップの進捗状況を問う。

**答** 23区での検討等と併せて、区においても検討組織を設けて移管に向けた手順・スケジュールの検討を進めている。

学習指導要領改訂、フシリティーマネジメントについて



小林ゆみ (自無)

**問** 「特別の教科 道徳」の内容や方法は、これまでとどのよう異なるのか。

**答** 対象を全学年に拡大し、いじめの問題への対応の充実や発達段階をより一層踏まえた体系的な内容へ改善が図られた。また、アクティブ・ラーニング的な手法を用い、一人ひとりの学びをより一層深めていく。

**問** 平成32年度に小学校で必修化されるプログラミング教育はどのように準備していくのか。

**答** 来年度から全区立小学校の高学年を対象に、外部人材を活用した授業をモデル実施し、調査研究に着手する。



**問** 施設再編整備計画に、施設の総床面積削減目標はあるのか。

**答** 数値目標は設定していないが、施設の複合化や多機能化等を図り、サービスの質を維持しながら、施設の数や延床面積、経費を削減していく。

スマートプラチナ社会の推進とふるさと納税の活用を！



大泉やすまさ (自民)

**問** 総務省が実現を目指している「スマートプラチナ社会」を区はどう評価しているのか。

**答** 超高齢化社会において、ICTを最大限活用する新たな社会モデルとして、十分研究すべきものと感じた。



**問** 高齢者と高齢者を支える世代が、いきいきと輝ける杉並区として2020年を迎えられるよう「スマートウエルネスコミュニティ協議会」への参加を検討すべきと考えるが。

**答** アクティブシニアの力とICTを結びつける事は、大変意義がある。産官学が一体となり活力ある健康長寿社会を目指す当協議会への参加も含め、スマートプラチナ社会の推進について積極的に検討していきたい。

**問** 財源流出がさらに増える予想される現状では、ふるさと納税制度の活用は一刻も早く取り組むべきと考える。

**答** 区の今年度の影響額は約7億2700万円となり、制度運用の問題を指摘するだけでなく、積極的に制度の活用を図るべきと考える。十分な検討と万全な準備を整えた上で、来年4月から力強くスタートしていきたい。

大震災、建物が倒壊し  
なければ人の命は救え  
る!!



北 明範  
(公明)

外環事業費増額反対!  
西武新宿線連続立体交  
差は地下化を



けしば誠一  
(平和)

東京オリンピック・パ  
ラリンピックに向けて



山本ひろこ  
(公明)

教育環境、住環境を悪  
化させる小中一貫校計  
画の中止を!



上保まさたけ  
(共産)

障がい者差別解消への  
取組、久我山東原公園  
の保育所転用について



金子けんたろう  
(共産)

区立保育園の存続、区  
立施設内のふれあいの  
家の運営継続を



山田耕平  
(共産)

駅前開発のための、ま  
ち壊しを許すな!



原田あきら  
(共産)

**問** 学校施設の耐震性能を、文科省はIs値0.7以上を推奨している。区立小中学校で0.7未満の校舎は何校あるのか。

**答** 文科省の耐震改修の補助基準が平成8年に改正されたため、それ以前に耐震改修促進法に基づき0.6以上が確保された15校が、0.7未満となっている。

**問** Is値0.7未満の校舎の耐震整備について、区の考えは。

**答** 熊本地震における国の調査等の動向を注視しつつ、必要に応じて今後の対応を検討する。



**問** 災害時、開設できない震災救援所があった場合の代替施設は。また、大型バルーンテント等も活用できるのでは。

**答** 区内の高校や大学との協定等により、学校施設を補助・代替施設としている。テントは簡易に設置できるが、季節や天候の影響を受けやすいため、屋内への避難を第一に進める。

**問** 子ども達が救急救命の技術を持ち、自他の命を守る防災意識の高い人材となるため、どのような取組をしているのか。

**答** 実技や講習、中学生レスキュー隊等、発達段階に応じて体系的に防災教育を推進している。

**問** 外環の事業費が、当初予算1兆2820億円に対して3155億円の増額と発表された。事業費の増加に歯止めがかからなくなる恐れがあるが、見解は。

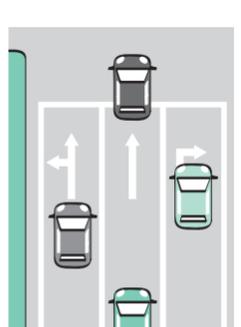
**答** 安全性の確保、早期整備等様々な視点から検証を重ね、現場条件等を踏まえて適切な方法を選定していると認識している。

**問** 文化プログラムに参画する区の意気込みを問う。

**答** オリニピックはスポーツの祭典だけでなく、文化の祭典でもある。区の特長を文化芸術資源を活用し、多くの区民が参加できる取組を進めていきたい。

**問** 区内をエリアに分けて、それぞれの文化・芸術の魅力、特色を際立たせる文化プログラムを展開してはどうか。

**答** 多くの人が参加・体験・体感できる杉並ならではの文化プログラムを展開し、区の魅力を国内外に広く発信していく。



**問** 住民は家屋調査に応じたいが、国からは質問への回答がない。区は、住民と国のやり取りを把握し、回答を求めてほしい。

**答** 住民の質問等には、今後も丁寧な対応を国に求めていく。

**問** 西武新宿線の連続立体交差事業について、立ち退きを迫る情報に沿って住民に知らせないまま、突然、高架式にするのでは。住民不在と思うが、区の考えは。

**答** 構造形式は、事業主体である都が様々な条件を総合的に判断し、最適な形式を選定する。

**問** 立ち退きがなく、環境影響が少なく、線路跡地をまちづくりを生かせる地下方式を検討すべきと思うが、区の見解は。

**答** 関係者の皆様と情報共有を図り、都や西武鉄道等と連携協力し、連続立体化の早期実現に向け、取組を進めていく。

教育環境、住環境を悪  
化させる小中一貫校計  
画の中止を!



上保まさたけ  
(共産)

**問** 高円寺地域の小中一貫校計画では様々な問題点が指摘されている。和泉学園の検証もできていない中で、さらに子ども達の教育環境、近隣の住環境が悪くなるこの計画を、なぜ進めることができるのか、見解を問う。

**答** 新しい学校の教育方針・内容や安全確保について議論している。

**問** 障がい者差別解消の条例化を検討すべきと考える。

**答** まずは障害者差別解消法に基づく取組や啓発を進めるため、現時点で条例化の検討はしない。

**問** 障がい者差別解消の条例化を検討すべきと考える。

**答** まずは障害者差別解消法に基づく取組や啓発を進めるため、現時点で条例化の検討はしない。



**問** 住民との約束を踏みにじり高円寺中のボーリング調査を強行したことを反省し、住民に謝罪し、話し合いを行い、納得が得られるまで全ての工事を中止すべきだが、見解を問う。

**答** 引き続き近隣住民の方々と協議を行い、生活環境に配慮する。

**問** 子どもの貧困が社会問題となる中、教育の自己負担経費が家計を圧迫し、特に進学時には大きな負担となっている。それを支えるための就学援助の入学準備金が支給時期、支給額、共済に実態に即していない。支給額を増額し、支給時期も入学前に改めるべきだが、見解を問う。

**答** 支給額の増額はしない。支給時期も7月のまま変えるつもりはない。

**問** 「すぎなみ学倶楽部」を文化プログラム情報も取り込んだ総合的な区の魅力を配信するツールとして、名称の見直しも含めた再構築を検討してはどうか。総合的な検討を行いたい。



**問** 「すぎなみ学倶楽部」を文化プログラム情報も取り込んだ総合的な区の魅力を配信するツールとして、名称の見直しも含めた再構築を検討してはどうか。総合的な検討を行いたい。

**答** 総合的な検討を行いたい。

障がい者差別解消への  
取組、久我山東原公園  
の保育所転用について



金子けんたろう  
(共産)

**問** 「障害者差別解消支援地域協議会」の設置に向けた進捗状況やメンバーについて問う。

**答** 現在、メンバーを選出している。障害当事者や団体の方、教育、権利擁護、福祉の関係者、学識経験者等とし、メンバーが確定次第、速やかに開催できるよう準備を進めている。

**問** 障がい者差別解消の条例化を検討すべきと考える。

**答** まずは障害者差別解消法に基づく取組や啓発を進めるため、現時点で条例化の検討はしない。

**問** 障がい者差別解消の条例化を検討すべきと考える。

**答** まずは障害者差別解消法に基づく取組や啓発を進めるため、現時点で条例化の検討はしない。



**問** 久我山東原公園の一部閉鎖について、住民から土地の代替案にも返事がないと説明があり、不安の声が広がった。地域包括ケアシステム構築の上でも今後も現在の事業を維持・運営すべき。

**答** 意見等を踏まえ、個々の状況に応じ丁寧に対応すると追加説明した。ふれあいの家は地域に貢献しており、今後求められ

**問** 「ふれあいの家」事業者へ契約更新しないと説明があり、不安の声が広がった。地域包括ケアシステム構築の上でも今後も現在の事業を維持・運営すべき。

**答** 意見等を踏まえ、個々の状況に応じ丁寧に対応すると追加説明した。ふれあいの家は地域に貢献しており、今後求められ

**問** 「お金がない」と施設廃止を進めるのに、一方で毎年数十億円もの税金をため込み、460億円にもなる。なぜ、区は550億円まで貯めようとするのか。

**答** 大幅な減収や大規模災害に備え、基金の積立を行っている。

**問** 本来、福祉向上のための行政改革が、行政改革のために福祉が削られているのではないのか。

**答** 財政健全性を維持しながら必要なサービスを継続的・安定的に提供していく。



**問** 「お金がない」と施設廃止を進めるのに、一方で毎年数十億円もの税金をため込み、460億円にもなる。なぜ、区は550億円まで貯めようとするのか。

**答** 大幅な減収や大規模災害に備え、基金の積立を行っている。

**問** 本来、福祉向上のための行政改革が、行政改革のために福祉が削られているのではないのか。

**答** 財政健全性を維持しながら必要なサービスを継続的・安定的に提供していく。



**問** 杉並区基本構想審議会における荻窪駅前開発の熱狂した議論が、駅中心のまちづくりを進めてきた。一方、これまで46の地区ごとに整備された区立施設が大幅に廃止されることに。これまでどこに住んでも便利で人間関係の豊かな街が形成されてきた杉並区が、学校や児童館が廃止される地区では区民サービスが低下する。区はどう考えるか。

**答** 児童の通学区域を基準に設定した46地区に基づく施設配置基準は見直し、駅勢圏を中心に設定した7地域を施設整備の基準として継承する。施設の複合化や多機能化で区民サービスを低下させずに効率化を図る。

※1 ファシリテイマナジメント = 経営戦略的視点から全施設を総合的に管理・活用する経営管理方式 ※2 Is値 = 地震に対する建物の強度や変形能力等を示す数値

区直営保育園を維持し、保育の質守れ／児童館事業の拡充を



新城つとこ (平和)

**問** 増加する保育需要に、他自治体も保育士の雇用や人材育成のため必死。人材確保の対策は、また、実行計画改定案で、認可保育園は分園を含めて106園となる。公平な保育の質のため、指導体制を充実させるべきでは。

**答** 人材確保のため、運営事業者の支援に引き続き努める。また、施設の増加を踏まえ、指導体制の見直しを検討している。

**問** 2019年までに区営保育園6園が民営化方針。民営保育園が増える中で、区立保育園の民営化は止めるべきと考える。

**答** 区立保育園のあり方について、改めて検討していく。



高齢者の見守りとアニメーションミュージアムについて



上野エリカ (未来)

**問** 高齢者の見守りの取組を始めた背景や経緯、現在の実績は。

**答** 都市化や高齢化が進む中、高齢者の孤立や孤独死、認知症の増加等が社会問題化した。区では安否確認等を目的とし、配食サービスや緊急通報システム、たすけあいネットワーク等を実施。また、安心おたっしや訪問事業では、昨年度9197人を訪問対象とし、455人を介護保険サービス等に結びつけた。



平和施策のさらなる充実と待機児童解消に向け丁寧な対策を



横山えみ (公明)

**問** 今年5月、オバマ米大統領が初めて広島を訪れ、スピーチした。平和首長会議に加盟している区の見解と取組を問う。

**答** 歴史的な行動であり、意義あるものだったと認識している。平和事業を推進し、戦争の記憶と平和の誓いを受け継いでいく。

**問** 全国中学校放送コンテストで泉南中学校が優秀賞を受賞した。どのように評価しているか。

**答** 原水爆禁止署名運動をテーマに、生徒達が自主的・主体的に取り組んだ大変価値あること。携わった生徒が平和の尊さ、大切さを改めて見つめ直す貴重な機会になったと評価している。

**問** 家庭福祉員の新制度移行について、事務作業の軽減と、給食を連携園で作る取組を。

**答** 事務作業の負担軽減は引き続き検討していく。給食は、搬入方法等の課題も多いが、具体的な解決方法を検討していく。



成年後見制度の利用促進に向けて、一層の努力を！



市来とも子 (平和)

**問** 成年後見センター設立から10年。この間の総括は。

**答** センターへの相談や申立件数は増加しているが、まだ十分に利用されているとはいえない。児童遊園等の活用を検討していく。



公園解体の住民対応は問題／児童館、図書館の再編について



松尾ゆり (杉木)

**問** 今後は保育園建設や他の目的のために、身近な公園をつぶすことはないかと確認してほしい。

**答** 既存保育施設隣地にある児童遊園等の活用を検討していく。

**問** 向井公園の解体工事では、予定していた近隣の戸別説明が終わっていないのに着工、区担当との面会を直前キャンセルされたお宅もあった。事業者の説明会を開催しないよう区側が指示する等、住民は振り回されている。また、高円寺小中一貫校建設では、近隣住民との約束を破ってボーリング調査を強行した。信義を破っても違法でなければいいという考え方か。

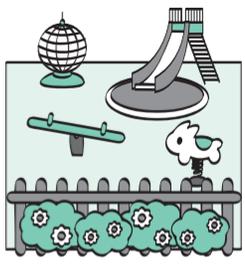
**答** 調査については、近隣住民の方々へ事前の説明等、丁寧な対応に努めた上で行った。

**問** 向井公園が廃止され、隣の下井草児童館も廃止の計画だが、廃止は撤回すべき。

**答** 計画を着実に実施する。

**問** 地域図書館のスリム化、コンパクト化が計画されているが、床面積は拡大、確保すべき。

**答** 複合化・多機能化を進め、改築時の規模のスリム化と効率化を図りつつ、必要なサービスを提供していく。



都知事選、保育、公共溝渠、私道について



田中ゆうたろう (美杉)

**問** 都知事選に大敗の増田寛也氏を、なぜ突然区の顧問に。

**答** 政治家に完璧な人間はいない。田中議員の物差しで人物を評価するのは、狭い、小さい。

**問** 2020年東京大会に関し、外国人に向けた施設整備状況は。

**答** 4カ国語表記の案内図や公園トイレ等の整備を進めている。恒久施設として設置することに執着するのは何が理由か。

**問** 永福体育館にはビーチコートではなく、乳幼児も利用できる汎用性の高い施設を整備せよ。

**答** ビーチスポーツや砂場を活用した健康増進事業等ができるため、常設施設として整備する。ビーチコートは整備で機能拡充を図り、子どもから高齢者まで、多様なスポーツニーズに応える。

**問** 久我山には複数の保育施設がある一方、保育施設が足りていない地域が他に多数あるが。

**答** 久我山・高井戸地域では、来年4月の待機児童が見込まれ、保育所を整備するのは区の責務。公共溝渠の整備の方向性は、

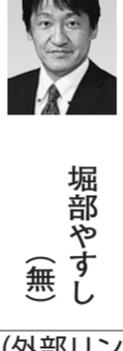
**問** 公共溝渠の整備の方向性は、区民が回遊することのできる歩行者空間のネットワークとして充実を図っていく。

**答** 増田氏が東京都知事選に落選したのは7月31日、顧問就任は9月1日。「田中区长が応援した候補者が落選したので杉並区が再就職の世話をしている」と抗議の声が届いている。

**問** 増田寛也氏は日本創成会議の座長も務め、高齢化や人口減少問題に優れた知見と識見を有している。顧問として処遇することにより、深く継続的に助言いただくため就任をお願いした。



杉並区が恒久施設としてビーチコートを建設するのはなぜ？



堀部やすし (無)

**問** 私道のうち位置指定道路を狭い道路として拡幅整備せよ。

**答** 拡幅整備の促進については、今後の研究課題とする。

**問** 児童館再編の改定案は、学校になじめない等の児童への対応が明らかにされていない。区の対策を確認する。

**答** 放課後等居場所事業や子ども・子育てプラザでの受け入れ等で継承していく。

**問** 荻窪駅南側の荻窪4丁目の公園用地確保の経緯と、地域要望を積極的に取り入れるためのワークシヨップ等の考えは。

**答** 公園用地は土地所有者からの寄付により確保。区民意見の反映には、十分意を用いていく。

**問** 団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目指し「介護・医療・予防」「住まい」、高齢者の見守りを含めた「生活支援」の連携等、どのように地域包括ケアシステムの構築を目指しているのか。区の意気込みは。

**答** 総合的に捉え、高齢になっても身近な地域で共に支え合いながら、安心して住み続けられる地域社会の再生に向けたシステムの構築を確実に進めていく。

**問** アニメーションミュージアムは、技術の変化等も踏まえて時代を捉えた展示内容への見直しも必要ではないか。

**答** 新たな技術の紹介や体験型展示の充実等、適時の見直しに努め、リピーター増を目指す。

**問** 従来の家庭福祉員制度は、子育ての選択肢の一つと考えるべき。杉並独自の制度としての確立を強く望む。

**答** 移行に至らない事業者の継続についても、丁寧な話し合いのもと十分検討していく。

**問** 障害者の利用を増やすための課題は。事業所等にも制度の周知徹底が必要ではないか。

**答** 課題に、制度を利用しやすい工夫や、家族等への周知、障害特性を踏まえた丁寧な説明で当事者の理解を得ること等がある。事業者には今後パンフレットを配る等、周知を図っていく。

**問** 住民の生活を守る基礎自治体の義務の観点から区長申立て制度は重要だ。区の考えを問う。

**答** 制度が十分な利用につながっていないことは承知している。制度設計の改善や人的確保の必要性について検討していく。

**問** 成年後見制度利用促進法・円滑化法が成立した。利用促進に向け一層の努力を求め。

**答** 制度改正を受け、区民後見人の育成や活用、制度の周知を行う等、取組の強化が必要と考える。必要な人に制度を活用してもらうため、成年後見センターや関係機関との連携がより円滑に進むよう働きかけていく。

**問** 向井公園の解体工事では、予定していた近隣の戸別説明が終わっていないのに着工、区担当との面会を直前キャンセルされたお宅もあった。事業者の説明会を開催しないよう区側が指示する等、住民は振り回されている。また、高円寺小中一貫校建設では、近隣住民との約束を破ってボーリング調査を強行した。信義を破っても違法でなければいいという考え方か。

**答** 調査については、近隣住民の方々へ事前の説明等、丁寧な対応に努めた上で行った。

**問** 向井公園が廃止され、隣の下井草児童館も廃止の計画だが、廃止は撤回すべき。

**答** 計画を着実に実施する。

**問** 地域図書館のスリム化、コンパクト化が計画されているが、床面積は拡大、確保すべき。

**答** 複合化・多機能化を進め、改築時の規模のスリム化と効率化を図りつつ、必要なサービスを提供していく。

**問** 私道のうち位置指定道路を狭い道路として拡幅整備せよ。

**答** 拡幅整備の促進については、今後の研究課題とする。



# 監査委員の意見

9月14日に代表監査委員が27年度決算等に関する意見を説明しました。

## 【各会計歳入歳出決算】

審査は、計数の正確性、予算執行の合法性・効率性、財政運営の健全性などに主眼をおき実施した。各会計歳入歳出決算及び附属書類は法令に準拠して調製され、計数に誤りはなく、予算執行は全体として適正に処理されていると認められた。

## ◆総合的判断

### 【一般会計について】

決算規模は、前年度比で歳入は0.8%増の1747億円余、歳出は0.5%増の1674億円余となり、前年度を上回った。決算収支をみると、形式収支、実質収支は黒字で、前年度に比べいずれも増加した。27年度の実質的な収支である実質単年度収支の黒字も増加し、48億1800万円余となっている。

歳入をみると、特別区税は、納税義務者の増加などにより前年度比1.4%、8億6000万円余の増、特別区財政交付金は、6年ぶりに減少し、前年度比4.8%、20億6300万円余の減となった。地方消費税交付金は2年連続で増加し、54億3800万円余の増となった。

収入未済額は、特別区税と諸収入で増加したため5年ぶりに増加し、26年度決算数値と比較して、10.3%増の39億5500万円余となった。

一般会計の歳出の執行率は、昨年に引き続き96.1%と比較的高い数値となっている。実行計画に基づき着実に事業が推進され、区民福祉向上のための施策の充実が図られており、4次

## 【特別会計について】

各保険事業に係る3つの特別会計の決算規模をみると、国民健康保険事業会計は、歳入歳出とも増加している。介護保険事業会計は、制度創設以来年々拡大しているが、後期高齢者医療事業会計は、歳出が減少した。

各保険料の収納率は横ばいで、介護保険事業は96.2%、後期高齢者医療事業は97.5%と比較的高い水準を保っているが、国民健康保険事業では72.7%にとどまり、保険料の収入未済額は前年度比5.4%、2億7000万円余減少したものの、47億5700万円余と依然多額に上っている。

3つの特別会計に対する一般会計からの繰入金金は前年度比18.1%増の190億7600万円余となり、一般会計歳出の1割を超える金額となっている。

以上から、保険料の収入未済額や一般会計からの繰入金金の動向には引き続き留意が必要であり、各保険料収納率の向上と保険給付適正化の取組の充実が望まれるが、中小企業勤労者福祉事業会計を含めた各特別会計は制度趣旨に沿って適切に運営されている。

## 【財政状況について】

財政調整基金は、前年度の歳計剰余金の積立などにより、この5年間で最大となった。施設整備基金は、小中一貫校の施設整備等のために取り崩したことから、3年ぶりにわずかに減となった。積立基金現在高は4年連続で増加し、27年度末現在高は前年度比10.2%増の460億9900万円余となり、標準財政規模に対する割合は39.8%に上昇した。

特別区債は、公園等の整備、妙正寺体育館の改築などのため12億8800万円の起債が行われたが、年度末残高は前年度比4.8%減の219億7100万円余と4年ぶりに減少した。

以上のことから、26年度に増加に転じた積立基金現在高と特別区債年度末残高との差額は、さらに拡大した。

財政指標をみると、経常収支比率は前年度比0.1ポイント減の79.7%となり、23区平均値は上回ったが、昨年度に引き続き財政運営の目標とする80%を下回った。また、公債費負担比率は、2年ぶりに上昇し2.0%となったが、23区平均値より低い水準にある。以上から、区の財政状況は、一定程度弾力性が保たれていると考えられ、全般的には健全である。

## 【基金運用状況】

各基金運用状況の計数に誤りはなく、各基金とも適正に管理運用されていると認められた。

## 【健全化判断比率】

健全化判断比率は法令に準拠し適正に算定され、計数は誤りがないことを確認した。実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は生じておらず、実質公債費比率は早期健全化基準を大きく下回り、財政の健全性が認められた。

## 平成28年 常任委員会行政視察

区議会では、魅力ある杉並区づくりに役立てるため、先進的な事業などを行う自治体の視察を行っています。

平成28年の各常任委員会の視察について、お知らせします。視察後は、報告書を作成し、区議会ホームページで公開しています。

委員会名	視察日	視察先	調査事項
総務財政	10月24日(月)	石川県かほく市	①複合型の施設整備について ②移住・定住施策について
	25日(火)	大阪府吹田市	①新公会計制度について ②市立吹田サッカースタジアムの建設について
	26日(水)	静岡県焼津市	①ふるさと納税について
区民生活	10月18日(火)	福岡県北九州市	①北九州フィルム・コミッションについて ②ウーマンワークカフェ北九州について
	19日(水)	大阪府堺市	①市民交流広場の活用について ②さかい利晶の杜(堺市文化観光拠点)について
	20日(木)	静岡県富士市	①富士市産業支援センター「f-Biz」について

委員会名	視察日	視察先	調査事項
保健福祉	10月26日(水)	大阪府高槻市	①子育て世代包括支援センターについて ②子育て総合支援センター「カンガルーの森」について
	27日(木)	山口県山口市	①夢のみずうみ村について
	28日(金)	愛知県名古屋	①高齢者と子どものための複合施設について
都市環境	10月24日(月)	愛知県豊田市	①中心市街地活性化と都心環境計画について ②環境モデル都市の取り組みについて
	25日(火)	岐阜県岐阜市	①中心市街地活性化について ②岐阜駅北口駅前広場整備について
	26日(水)	愛知県安城市	①自転車を活用したまちづくりについて
文教	10月25日(火)	長野県長野市	①部活動と総合型地域スポーツクラブの連携について ②しなのきプラン29について
	26日(水)	富山県富山市	①小中一貫的連携教育について ②富山市立図書館本館について

## 区議会ポスター写真に46点の応募がありました

8月1日号でお知らせした区議会ポスター写真の公募に、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。  
広報委員会による審査の結果、第4回定例会は応募作品を使ったポスターを製作しました。これからも、わかりやすく身近な区議会を目指して、広報に努めていきます。



## 「請願・陳情の審査結果」

- 【採択】
  - ◇固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願(28請願第1号)
  - ◇固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願(28請願第2号)
  - ◇上井草スポーツセンター指定管理者に関する陳情(28陳情第13号)
- 【不採択】
  - ◇精神障害者、知的障害者に家

**朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議し、決議文を送付**

区議会は、朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議するとともに、今後一切の核開発を即時停止し、適切に廃棄することを強く求める決議文を、9月9日付で国務委員会金正恩委員長宛に送付しました。

※決議文の全文は、区議会ホームページの「意見書・決議等」でご覧になれます。

**「固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書」を提出**

区議会は、区内の小規模事業者を取り巻く環境が依然厳しい状況にある中、軽減措置の廃止は小規模事業者の経営や生活をさらに厳しいものとし、ひいては地域社会の活性化のみならず、日本経済の回復に大きな影響を及ぼすことにもなりかねないとし、軽減措置の継続を求める意見書を、10月14日付で都に対し提出しました。

### 超高齢社会・人口減少社会を見据えて、 不断の行財政改革を

杉並区議会自由民主党

私たちは会派は、平成27年度の決算審査にあたり、①将来の超高齢社会、人口減少社会を見据えて慎重な財政運営を行ったか②基本構想実現に向けて、予算化・計画化された事業を着実に執行できているか、併せて喫緊の区民ニーズに柔軟に対応できているか③より効果的、効率的な行政執行に向けて不断の行財政改革に取り組んでいるか、の3点を重点を置き、決算の審査にあたった。その結果、平成27年度杉並区各会計歳入歳出決算の全てを認定する。

一般会計は歳入・歳出がそれぞれ過去最高額となったが、財政状況を財政指標から見ると一定程度弾力性が保たれ、健全な状況にあると判断した。

次に、基本構想実現に向けて、実行計画事業を着実に推進した点を評価する。

さらに、行財政改革基本方針の下、区立施設再編整備計画事業の着実な推進を図るとともに、

専門定型業務の委託化に向けた取組や区立保育園の民営化の推進等、着実に行財政改革を進めたことを評価する。今後は、ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング等の新たな歳入増に向けた取組の検討や、アニメを通じた近隣自治体4区連携等をさらに推し進めて観光客誘致に繋ぐことを期待する。



はなし俊郎委員

次に、今後の区政運営にあたっての要望を述べる。

まず、防災については、細やかで現実的な首都直下地震対策と実効性のある河川氾濫対策の速やかな充実に求める。

商店街振興については、防犯カメラの設置促進と維持管理にかかる経費の助成拡充、施策とリンクした共通商品券の活用等の促進等を要望する。

保健福祉分野では、待機児童と観光施策に連携活用できる広域的な展開を強く求める。

### 「共生社会」に向けて、前向きな取組と 成果を大きく評価

区民フォーラムみらい

平成27年度の決算審査で我が会派は5つの重点課題に向け、①前向きに取り組む成果を残せたか②区民にご納得頂ける行政運営がされたか、という視点で審査を行い、全てを認定。

第一に、防災行政無線のデジタル化や防災アプリ配信を開始し、災害情報提供の仕組作りで、安心・安全のまちづくりに寄与。

第二に、狭あい道路整備に踏み込み条例化検討着手、障害者や高齢者等、誰もが安心して暮らせる住まい確保等、暮らしやすく快適なまちづくりに貢献。

第三に、省エネ性能向上や再生可能エネルギー普及、「小学生環境サミット」で人材育成、公園整備等みどり豊かな環境にやさしいまちの実現に尽力。

第四に、生活困窮者の支援を開始。在宅医療分野では地域の医療・介護・生活支援を横に繋ぎ、病予防に努め、健康長寿と支え合いのまちを具現化。

第五に、妊娠前から切れ目の無い支援や、新たに最先端科学を身近な地域で提供する科学教育事業の開始。自治体間連携の充実で心豊かなまちに向け邁進。

次に今後の区政運営に対する我が会派の要望を述べる。

### 保育園・特養ホーム・在宅介護の拡充で 区民の負担を解消！

いのち・平和クラブ

区民の命と暮らし、平和を守る区長の姿勢に賛同する。

まず評価する点として第一に、福祉施策を向上させつつ健全な財政運営を進めた点。引き続き、健全な財政運営に取り組むよう求める。

第二に、障がい者の地域生活支援体制の拡充やグループホームの整備を図る等、区長が一貫して福祉の向上を自治体の役割としていく姿勢。

第三に、都の補助事業に区費の上乗せを始める等、貧困の連鎖を断つ施策を講じたこと。

第四に、保育園待機児童の解消を図るため、認可保育所を核に、700人を超える定員を確保したこと。また、予想を超える待機児童の発生に認可園を柱に来年4月までに2000人を超す定員の確保に踏み切ったことは画期的である。ただし、公園の一部利用の条件は、公園代替地の確保であり、区の一層の努力を求める。

第五に「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、全ての地域包括支援センターに地域包括ケア推進員を配置し、在宅療養支援体制の強化を図ったこと。また、南伊豆町の特養ホーム建設では、従来の制度のフレームを変更し、自治体間の新たな連携のあり方を内外に提示したこと。次に、審議を通じ課題としたことを確認する。

施設再編整備計画について、区立施設の老朽化による建て替えには、時代の変化とともに施策の優先順位が変わるため一定



奥田雅子委員

施設一体型小中一貫校については成功事例がなく、和泉学園の検証もこれからであり、施設一体型を新たに進めることは反対である。富士見丘小学校の保護者が、放射第5号線開通による環境悪化から生徒を守るために要望してきた移転用地を富士見丘中の隣に購入でき、一体的な改築計画が打ち出された。校庭の狭さは高井戸公園の活用で解決し、施設一体型ではない富士見丘小・富士見丘中の小中連携を進めるよう求める。

B型肝炎ワクチンが定期接種になったが、区内の0歳から20歳までに発症はなく、事業の必要性は極めて低い。接種には特別なアレルギー対応が必要なこと、重篤な副反応が起こりうること、接種は任意であることの情報提供を求める。

以上の評価と要望を述べ、決算について全て認定する。



平成27年度一般会計歳入歳出決算と4特別会計歳入歳出決算を審査するため、全議員で構成する「決算特別委員会(委員長:大槻城一委員、副委員長:大熊昌巳委員)」を設置しました。

9月30日から10月13日までの14日間にわたり、平成27年度予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査が行われました。

最終日には、各会派から決算の賛否について意見発表がありました。その要旨をお知らせします。

なお、次の会派からも意見の発表がありました。

杉並わくわく会議 共に生きる杉並  
美しい杉並 無所属  
無所属(木村)



山本あけみ委員

来年度は「杉並区実行計画」の改定後スタートの年。政策運営において、区職員自ら学び、より一層の政策提言能力を上げるよう要望。区立施設再編整備計画策定は最終目的では無く、将来の負担の見える化が必要。

「伝わる広報」の変革中だが、区と区民との情報共有が進み、区民にとって身近でより良い施策に繋がる取組を求める。

# 平成27年度決算

# 意見発表

平成27年度決算 会計別	歳入	歳出	
一般会計	174,725,701,401円	167,467,334,835円	
特別会計	国民健康保険事業会計	63,603,934,197円	62,795,138,268円
	介護保険事業会計	38,296,692,581円	37,344,139,177円
	後期高齢者医療事業会計	12,899,286,125円	12,385,426,149円
	中小企業勤労者福祉事業会計	132,632,658円	57,523,765円
合計	289,658,246,962円	280,049,562,194円	

## 希望ゆきわたる杉並区の実現を目指して

### 杉並区議会公明党

平成27年度は、急増する保育需要、急速に進む高齢化、更には「地方創生」という今までになかった角度で行政のあり方の検討等、直面する区政課題が急激に顕在化した年でもあった。こうした区政動向を踏まえ、決算内容を審査した結果、次の理由により、平成27年度各会計歳入歳出決算をいづれも認定する。

第一の理由は、総合計画・実行計画において各分野の目標を着実に実行したことが確認できたこと。また、我が会派が区に要望・提案を重ねてきた施策の多くが前進していること。

第二の理由は、様々な施策を充実させながらも、区財政の健全性は確保している点。フローの財政指標が経常収支比率79・7%、公債費負担比率2・0%、実質収支比率6・0%の結果でいづれも良好な数値だった。

基金と区債は、基金積立合計額が460億円、区債発行残高が220億円で、23年度当時、



しかし、今後の財政状況は、注意を払わなければならない。一般会計から国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の特別会計への繰出金が年々大きく増加していることや、毎年前年度比20%ほどの伸びを記録している保育運営費、さらには施設やインフラの維持管理・更新への財源確保等、財政の逼迫度が急激に上昇することが懸念される。こうした課題に対して、詳細なコスト分析等のコスト情報、積極的な公開や、包括的かつ事前統制的な意味合いを持つ公会計情報も活用して、新たな財政指標・運用ルールを構築し、



渡辺富士雄委員

持続可能な財政運営に努めていくことを要望する。

委員会審議において、我が会派からの意見・要望・提案については、各分野において、行政改革の推進、行政サービスの向上に十分なる向上に十分なる内容である。今後の区政運営にあたり、十分検討し、反映させることを強く要望する。

リオ大会が終わり、いよいよ2020年東京大会開催に向けて大きく動き始めた。次代を担う子ども達に、オリンピック・パラリンピックのみならず杉並のまちづくりや福祉においても「心のレガシー」を残していくために、私たちは時代を見据えた新しい文化を創造し、希望がゆきわたる杉並区を実現していかなければならないと考える。

施設の再編整備という名の下の、駅周辺のまちづくりへの大転換が行われている。あんなにぶる荻窪と荻窪税務署の財産交換も、特養ホーム整備のためは、税務署を駅前に移転させ、駅前開発の促進を図ること

## 区民の切実な実態に向き合い、くらしを守る区政運営を！

### 日本共産党杉並区議団



上保まさたけ委員

区民の負担増はますます厳しさを増しているが、こうした実態に向き合い、負担軽減・生活上に足を踏み出す姿勢がない。全て社会保障に使うとしていた消費税増税による税収は、実際には一部しか社会保障費に使われず、残りは新たに基金に蓄えられた。増税分の税収の活用については、社会保障の増進や社会保険料の引き下げ等の区民負担の軽減等、区民のくらしを守るために活用すべき。

当該年度は13園の認可保育所整備を位置付けながら、実際は7園の整備に留まった。これは途中、小規模保育施設へ整備方針を転換する政策判断ミスによるもの。当初の方針を貫き続けられ、今年度の待機児童問題の深刻化は防ぐことができた。区がこれまで積み上げた460億円もの基金を活用し、民有地を活用した認可保育所整備を求め、区立施設の使用料の値上げによる区民サービスの後退は明白。区民の意見も聞かず強行された値上げは、基本構想やスポーツ推進計画にも大きく矛盾。さらなる値上げを中止し、使用料は無料化すべき。

## 現状に甘んじず、さらなる健全財政を目指すべき

### 自民・無所属クラブ

平成27年度予算に対し、我が会派は、適切な財政運営がなされているか、適切に事業が実行されているか、という大きく二つの点から決算審議を進めた。

一点目に、財政運営という視点から見ると、実質単年度収支額は26年度比で41・7%増であるが、26年度に比べて財政調整基金の積立金の額が減少したことは少々心もとない。より強固な財政のダムを構築するため、財政調整基金積み増しにはさらなる努力を期待する。

特別区債の発行は、直近5年間で最小となった。我が会派は、極力区債発行を抑え、計画的に貯蓄することで毎年の施設建設に備えるよう要望してきたので、この傾向は会派の意向に沿うものである。今後も区債発行は、必要性や時期を慎重に検討しながら行うよう要望する。

経常収支比率について、2年連続80%以内という目標値が達成されたことは評価できる。ただし、経常収支比率の分子を構成する要素には人件費や扶助費があり、人件費比率は、23区平均と比べると高い数値である。人件費削減のために、民間に委ねることができる分野を常に検討し、効率的な執行体制を作っていく、同時に超過勤務の削減、特殊勤務手当の見直し等を随時行うことを要望する。扶助費は人口構成から見ても、今後右肩上がりになることは明らかであるため、長期的な財政運営を見通していくべき。

また、経常収支比率は杉並区



小林ゆみ委員

二点目に、事業の執行状況という視点から見ていく。実行計画の施策目標の達成割合を参照すると、平成27年度は目標値に到達した指標の数は4割に届いていない。当該年度は実行計画ローリングの最初の年度となり、計画を定期的に見直し、部分的に修正・補正を加えながら区政運営がなされた年度であるにもかかわらず、目標達成率が低いことは看過できない。区は計画策定・数値目標設定の際には実現の可能性を十分考慮して定めること、また、長期的な視野を持つて行政を進めることを要望し、28年度決算においては、各事業の執行状況が改善されることを期待する。

以上の指摘と要望を添え、決算を全て認定とする。

《声・点字の区議会だより》

本紙を録音した「声の区議会だより」（カセットテープ、オーディオ版、デジ版）、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。区内在住の視覚障害の方と特に希望される方が対象ですので、お知り合いの方にお知らせください（お申し込みは区議会事務局へ）。

# 議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成28年10月14日議決（※1は9月9日、※2は9月14日議決）

議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	共産	平和	自無	杉わ	共生	美杉	無	無木	結果
73号	杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	特定用途誘導地区内の建築物の容積率又は建築面積に関する制限の適用除外に係る許可申請手数料の設定等	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
74号	杉並区立地域センター及び区民集会所条例の一部を改正する条例	西荻南区民集会所併設西荻南児童館の集居室兼音楽室に係る規定の削除	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
75号	杉並区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例及び杉並区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部を改正する条例	指定地域密着型通所介護の事業の人員、設備及び運営の基準の設定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
76号	杉並区立区民住宅条例の一部を改正する条例	上高井戸区民住宅の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77号	損害の賠償について	区所有の庁有車が、公務中に起こした交通事故に関する損害賠償	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78号	損害の賠償について	区施設の職員が、公務中に起こした事故に関する損害賠償	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
79号	平成28年度杉並区用地会計予算	富士見丘地域の学校用地取得にあたり、用地取得費及び物件等補償費として、40億4,401万9千円を計上	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
80号	平成28年度杉並区一般会計補正予算（第5号）	「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」に基づき、今後の行政需要や災害対策に活用するため、決算剰余金の2分の1以上を財政調整基金に積み立てることや、保育緊急対策を含む保育施設の整備、B型肝炎ワクチン予防接種の定期接種化に伴う経費など、新たな事情の変化や緊急性等の観点から、14事業43億5,116万円の補正と財源更正1事業のほか、債務負担行為と地方債の補正	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	可決
81号	杉並区教育委員会委員の任命の同意について ※2	対馬初音（つしま はつね）氏の任命に同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定1号	平成27年度杉並区一般会計歳入歳出決算	歳入決算額：1,747億2,570万1,401円 前年度比0.8%増 歳出決算額：1,674億6,733万4,835円 前年度比0.5%増 差引残額：72億5,836万6,566円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	認定
認定2号	平成27年度杉並区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額：636億393万4,197円 前年度比19.9%増 歳出決算額：627億9,513万8,268円 前年度比19.9%増 差引残額：8億379万5,929円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	認定
認定3号	平成27年度杉並区介護保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額：382億9,669万2,581円 前年度比1.4%増 歳出決算額：373億4,413万9,177円 前年度比2.5%増 差引残額：9億5,255万3,404円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	認定
認定4号	平成27年度杉並区後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	歳入決算額：128億9,928万6,125円 前年度比0.3%増 歳出決算額：123億8,542万6,149円 前年度比1.4%減 差引残額：5億1,385万9,976円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	認定
認定5号	平成27年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計歳入歳出決算	歳入決算額：1億3,263万2,658円 前年度比10.8%減 歳出決算額：5,752万3,765円 前年度比9.6%減 差引残額：7,510万8,893円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	認定
報告12号	地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した平成28年度杉並区一般会計補正予算（第4号）の報告及び承認について ※2	都知事選挙の執行に必要な経費2億190万5千円の補正を報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
報告13号	地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について ※2	区所有の庁有車が、公務中に起こした事故に関する損害賠償額の決定の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
報告14号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について ※2	平成26年第3回定例会で議決された「杉並区妙正寺体育館改築建築工事」の契約金額を2,491万5,600円増額し、13億2,091万5,600円とした。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
報告15号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について ※2	平成27年第2回定例会で議決された「特別区道第2123号線等整備工事」の契約金額を1,421万3,880円増額し、1億7,588万9,880円とした。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
報告16号	平成27年度健全化判断比率について ※2	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」第3条第1項の規定に基づく「健全化判断比率」の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
提出議案委員案	1号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
提出議案委員案	4号	朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議し、核開発の即時停止を求める決議 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案の一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》

自民/杉並区議会自由民主党（12人）、公明/杉並区議会公明党（8人）、未来/区民フォーラムみらい（6人）、共産/日本共産党杉並区議団（6人）、平和/いのち・平和クラブ（6人）、自無/自民・無所属クラブ（5人）、杉わ/杉並わくわく会議（1人）、共生/共に生きる杉並（1人）、美杉/美しい杉並（1人）、無/無所属（1人）、無木/無所属（木村）（1人）

## 常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします（8月～10月）

### 常任委員会

- ◇総務財政委員会
  - 【開会日】8月29日
  - 【所管事項調査】杉並区実行計画（平成29～31年度）等の改定案について ほか1件
  - 【開会日】9月23日
  - 【議案審査】第73、77～80号 【付託事項審査】請願審査
  - 【所管事項調査】平成28年度都区財政調整算定の結果について ほか2件
- ◇区民生活委員会
  - 【開会日】9月15日
  - 【議案審査】第74号
  - 【所管事項調査】民営化宿泊施設の決算状況について ほか2件
- ◇保健福祉委員会
  - 【開会日】9月16日
  - 【議案審査】第75号 【付託事項審査】陳情審査
  - 【所管事項調査】区有地の活用による重度知的障害者グループホーム等の整備・運営事業者の再公募について ほか4件
- ◇都市環境委員会
  - 【開会日】9月20日
  - 【議案審査】第76号
  - 【所管事項調査】景観重要建造物等の指定について ほか8件
- ◇文教委員会
  - 【開会日】9月21日
  - 【付託事項審査】陳情審査
  - 【所管事項調査】平成28年度「すぎなみ小・中学生未来サミット」の実施報告について ほか1件

### 議会運営委員会

- 【開会日】8月8日
- 【議 題】定例会の日程について ほか
- 【開会日】9月1日
- 【議 題】定例会の提案事項について ほか
- 【開会日】9月9日
- 【議 題】議員提出議案について ほか
- 【開会日】10月14日
- 【議 題】議案審査結果報告について ほか

### 特別委員会

- ◇災害対策特別委員会
  - 【開会日】9月26日
  - 【所管事項調査】平成28年度杉並区総合震災訓練等の実施について ほか2件
- ◇道路交通対策特別委員会
  - 【開会日】9月27日
  - 【所管事項調査】外環道の進捗状況について ほか2件
- ◇文化芸術・スポーツに関する特別委員会
  - 【開会日】9月28日
  - 【所管事項調査】杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会の設置等について ほか2件
- ◇議会改革特別委員会
  - 【開会日】9月29日
  - 【所管事項調査】議会基本条例について ほか1件